

ヒクイナ

学名	Porzana fusca (Linnaeus,1766)	
目名	ツル目	
目名学名	GRUIFORMES	
科名	クイナ科	
科名学名	Rallidae	
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：Ⅱ (VU)



[選定理由]

小河川や水路のコンクリート化により生息環境が悪化し、生息数が減少している。

県内分布	平地の湿地に夏鳥。
分布域	亜種ヒクイナは、北海道、本州、四国、九州で夏鳥。屋久島以南では冬鳥。奄美以南では亜種リュウキュウヒクイナ(P. f. phaeopyga)が留鳥。
世界的分布	朝鮮半島、中国中部・南部で繁殖、東南アジアで留鳥。
生息環境	平地から低山の水田を含む湿地に生息し、草の茂みの中で繁殖する。水生の魚類、昆虫類、甲殻類のほか、草本の種子などを食べる。
現状	大分県内でも繁殖している可能性が高いが、草むらの中で生活しているため、姿を見つけにくい。近年、宅地開発、圃場整備、水田の乾田化などにより生息環境が悪化し、観察頻度が減少している。
備考	希少鳥獣